

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	観光パワーアップチャレンジ事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	10	99	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	18	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	観光事業者	対象の大きさを表す対象指標名と単位	市内の観光業者	対象指標の数値	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
					500				
					現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	積極的に事業を展開してもらう	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	支援の対象となった事業者数	成果指標の数値(実績・目標)	18目標	5	最終目標	
					18実績		19目標		↑ 最終目標達成年度
				23目標		23実績		↑ 最終目標達成年度	
				18目標		最終目標			
				18実績		19目標		↑ 最終目標達成年度	
				23目標		23実績		↑ 最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	観光事業者が自ら地域づくりを考え、実践する活動を支援する。懇談会と意見交換会の開催	18年度の実績	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	人脈を活用して得た優良な人材による観光地づくり学習会の開催 ムトス事業の精神に基づき、観光拠点事業者の懇談会と現場での意見交換会を開催し、チャレンジパートナーの発掘育成を行う。 講演活動の開催によるホスピタリティの向上を図る。 懇談会等で発掘・提案を受けた事業で必要なものは、「分野横断型」施策体系の中で支援する。 パワーアップ協定に基づく支援	活動量を表す名称・単位	学習会の開催数 支援した事業(数)	活動量の値
			19年度計画	人脈を活用して得た優良な人材による観光地づくり学習会の開催 ムトス事業の精神に基づき、観光拠点事業者の懇談会と現場での意見交換会を開催し、チャレンジパートナーの発掘育成を行う。 講演活動の開催によるホスピタリティの向上を図る。 懇談会等で発掘・提案を受けた事業で必要なものは、「分野横断型」施策体系の中で支援する。 パワーアップ協定に基づく支援	学習会の開催数 支援した事業(数)	5		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源			
事業費計(A)		0	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 60	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	215	358
	トータルコストA+B	215	358

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。


目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり。観光業者と一般業者の等で、新規の育成をする動機付け。	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	観光消費額	上位成果指標の数値	現状値	145	19実績	150
					20実績		21実績		
					22実績		23目標	184	
					現状値		19実績		
					20実績		21実績		
					22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・地域活性化プログラムの具現化 ・旧来の学習会や講演会では、観光の一般的理論や先進的事例による事業しか習得できなかったが、人脈を活用した講師による、地域に根ざした学習活動が必要となった。また、ムツ的手法による事業の掘り起こしも必要となる。		

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由) 他に類似する事業がなく、統一は不可能である。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) 受益者は事業者と、観光客であるが、適切な費用負担の基に事業が遂行される。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	